

「medicina」第22巻 総目次

1985年 第1号～第13号

数字は通巻頁数, ()内は号数, 12号は臨時増刊特集号です。

〔今月の主題〕

心不全診療の動向(1)

心不全の動向 木全 心一 6

〈心不全の病態生理〉

心筋収縮機構 井上 通敏・他 8

交感神経, カテコールアミン

腎機能, 内分泌系 小川 宏一 12

腎機能, 内分泌系 長村 好章 14

〈心不全の診断と治療方針〉

心機能評価法 村松 準 18

心不全 高橋 早苗 24

心原性ショック 田中 啓治・他 28

〈心不全の治療法—適応と使用上の注意〉

ジギタリス 佐藤 友英 34

TA-064, Amrinone 松本 直行 37

カテコールアミン 松村 研二 40

利尿薬 浅野 泰 42

血管拡張薬 齊藤 宗靖 44

ECUM 前田 憲志・他 46

補助循環—心不全と心原性ショックの

治療法 高野 昭夫 48

心筋代謝賦活薬 矢崎 義雄 54

〈他の障害を有する心不全〉

呼吸不全—急性心不全における

呼吸器症状 野口 宏 56

腎不全 長村 好章 61

妊娠と心不全 杉下 靖郎 64

〈特異性のある心不全の診断と治療〉

心不全に伴う不整脈 早崎 和也 66

右室梗塞 土師 一夫 68

心室中隔穿孔 木全 心一 72

肺性心 半田俊之介・他 74

高拍出性心不全 木全 心一 76

先天性心疾患 中沢 誠 78

〈鼎 談〉

心不全をめぐる 本田 喬

篠山 重威・木全 心一 82

今月の主題・理解のための10題

木全 心一 98

筋疾患とその周辺(2)

筋疾患の現状と問題点 栗原 照幸 192

〈基礎知識〉

筋肉の動き 石原 傳幸 196

筋疾患の分類 小口喜三夫 202

〈病像と臨床〉

筋疾患へのアプローチ—臨床症状の

特徴と診察法 岡本 定昭 206

筋原性および神経原性筋萎縮の鑑別法

調 輝男 208

筋疾患の特殊な臨床像

田代 邦雄・他 210

〈検査法〉

筋電図でわかること

島居 順三・他 212

診断上重要な血清酵素

植田 啓嗣・他 216

筋生検

—光顕レベルでわかること

山村 善教 220

—電顕レベルで明らかになること

福原 信義 228

〈筋疾患各論〉

先天性ミオパチー 埜中 征哉 235

筋ジストロフィー症 若山 吉弘 240

福山型筋ジストロフィー症

福山 幸夫 244

ミオトニー疾患 栗原 照幸 246

周期性四肢麻痺 古沢 久幸 248

炎症性筋疾患 木下 真男 251

代謝性ミオパチー 庄司 進一 254

糖原病とミオパチー 納 光弘 258

遠位型ミオパチー 福原 信義 262

癌性ミオパチー 大生 定義・他 264

〈神経筋接合部の疾患〉

重症筋無力症 高守 正治 266

Eaton-Lambert 症候群

高守 正治 274

ボツリヌス中毒 高守 正治・他 276

神経筋伝達を阻害する薬剤

高守 正治・他 278

〈筋疾患の成因と治療〉

筋疾患の成因と治療—進行性筋ジス

トロフィーを中心に 杉田 秀夫 282

〈神経原性筋萎縮と筋疾患の鑑別

および両者にまたがる疾患群〉

Werdnig-Hoffmann 病

瀬川 昌也 285

Kugelberg-Welander 病

塚越 廣 288

運動ニューロン疾患 高橋 和郎 290

Kearns-Shy 症候群

山本 剛司・他 294

〈鼎 談〉

筋疾患の臨床的問題点 埜中 征哉

杉田 秀夫・栗原 照幸 299

今月の主題・理解のための10題

栗原 照幸 314

重要用語の解説 栗原 照幸 195

内分泌疾患の新たな展開(3)

臨床内分泌学の進歩 小出 義信 382

〈早期診断へのヒントと診断の進め方〉

内分泌疾患を示唆する理学所見

山本 通子 384

内分泌疾患を示唆する一般検査所見

久貝 信夫 388

バセドウ病 葛谷 信明 390

甲状腺機能低下症(粘液水腫)

高須 信行 392

クッシング症候群 安田 圭吾・他 396

末端肥大症 對馬 敏夫 400

下垂体機能低下症 大西 利夫 402

褐色細胞腫 三浦 幸雄・他 406

腎血管性高血圧 猿田 享男 408

〈新しい内分泌検査とその臨床的意義〉

CRF 負荷試験 田中 孝司・他 410

GRF 負荷試験 千原 和夫 412

TSH レセプター抗体(TB II)

市川 陽一 415

Free T₄, Free T₃ 小林 功・他 418

〈画像診断〉

下垂体腫瘍—特にクッシング病の

microadenoma について

桑山 明夫 420

甲状腺結節 小原 孝男・他 424

副 腎 福地 総逸 428

腎血管性高血圧症 谷本 伸弘・他 432

〈救急治療〉

甲状腺クリーゼ 森 徹 436

甲状腺中毒性周期性四肢麻痺

高松 順太 438

急性副腎皮質不全 加藤 達男 440

低ナトリウム血症(SIADH)

山田 研一・他 442

高カルシウム血症 佐藤 豊・他 446

〈新しい治療法とその適応〉

副腎酵素阻害薬 木野内 喬・他 448

腎血管性高血圧症における PTA と

変換酵素阻害剤 藤田 敏郎 450

〈トピックス〉

家族性低カルシウム尿性高カルシ

ウム血症(FHH) 深瀬 正晃 452

低レニン性低アルドステロン症

宮森 勇・他 454

遺伝子工学と成長ホルモン

高野加寿恵 458

新しい神経ペプチドとその作用

加藤 譲 460

〈座談会〉

内分泌疾患診療の実際

森 徹・對馬 敏夫

小原 孝男・小出 義信 463

今月の主題・理解のための10題

小出 義信 478

胆道疾患診療のトピックス(4)

胆道疾患最近の展開 大菅 俊明 582

〈胆道精査法の特徴と選択〉	
超音波法	北村 次男・他 586
X線造影法(排他性, PTC, ERCP)	高田 忠敬・他 596
CT	草野 正一 604
血管造影法—胆道癌の診断	
	有山 襄・他 607
胆道シンチグラム	小野 慶一・他 610
画像診断の選択順序	
	大藤 正雄・他 614
胆道機能検査法	小林 絢三・他 618
〈胆石生成と胆汁分泌〉	
胆石成因の最近の考え方	
	菅田 文夫 622
胆汁の生化学と胆汁分泌機構	
	米田 政志・他 624
〈胆石治療の最近の進歩〉	
胆石の種類と日本人胆石の特徴	
	向原 純雄・他 626
胆石組成とX線像の特徴	
	松本 泰二 628
胆石の手術適応と術後愁訴	
	松代 隆・他 634
胆汁酸による溶解療法の適応と限界	
	奥村 恂 640
サイレントストーンの実態と治療方針	
	亀田 治男・他 644
総胆管胆石をめぐる諸問題	
	田島 芳雄・他 646
肝内胆石の病理と治療	
	山本 賢輔 650
〈最近における胆道感染症の対策〉	
化学療法剤の選択と手術の時期	
	谷村 弘 652
化膿性胆管炎とその周辺	
	多賀須幸男・他 654
非手術的胆道ドレナージ法の評価	
	中島 正継・他 656
〈胆嚢癌, 胆管癌治療の現状〉	
胆道癌の実態と治療の現状	
	中山 和道・他 660
胆道癌背景因子としての胆石	
	小山 研二 664
胆嚢内隆起性病変の病理—早期癌としての意義	
	小塚 貞雄 666
〈胆道疾患と他臓器疾患〉	
胆・肝・膵の相互相関	
	中野 哲・他 668
他臓器疾患における胆石の対策	
	辻井 正・他 670
〈胆道形態異常の病態〉	
膵管胆道合流異常の病態	
	宮野 武・他 672
先天性胆道拡張症の病態	
	木村 邦夫・他 674
先天性胆道閉鎖症の診断と治療	
	大川 治夫 678
〈鼎談〉	
胆道疾患診療の実際	
	土屋 幸浩 682
	宮崎 逸夫・大菅 俊明

免疫反応と臓器疾患(5)	
免疫反応と臓器疾患	
	北原 光夫 768
〈免疫機構と応答〉	
免疫反応のもとになる臓器と細胞	
	中野 昌康 772
細胞性免疫の機序	
	中村 玲子 776
補体と免疫反応	
	行山 康 782
リンフォカインの役割	
	西原 利治・他 788
抗原とは何か	
	多田隰卓史 794
HLA抗原と免疫反応の遺伝因子	
	関口 進 796
〈診断的アプローチ〉	
免疫学的疾患の検査	
	柏木平八郎 802
〈免疫抑制剤の使い方〉	
免疫疾患治療薬の作用機序	
	安倍 千之 806
ステロイドの使用法	
	柳沢 孝夫 810
免疫抑制剤はどこまで用いるか	
	東條 毅 812
〈即時的過敏性反応〉	
I型過敏症の機構と制御	
	奥平 博一 814
メディエーター	
	富田 有祐 818
アナフィラキ시스	
	山田 昭夫 822
アレルギー性鼻炎	
	奥田 稔 824
蕁麻疹	
	石川 英一 828
気管支喘息	
	根本 俊和・他 832
〈細胞毒性抗体による疾患〉	
自己免疫性溶血性貧血—warm antibodyとcold antibody, および治療方針について	
	八木田正人・他 834
薬剤による溶血性貧血	
	三輪 史朗 836
特発性血小板減少性紫斑病	
	村上 博・他 838
甲状腺疾患と免疫	
	市川 陽一 842
自己免疫性間質性腎炎	
	上田 志朗・他 846
〈免疫複合体によって起こる疾患〉	
血清病	
	杉崎 徹三 850
Hepatitis B抗原に対する免疫反応	
	黒木 哲夫 852
悪性腫瘍と免疫複合体	
	今井 浩三・他 856
糸球体腎炎と免疫複合体	
	若新 政史 860
移植免疫	
	池脇 信直・他 862
〈補体と細胞性免疫の欠如〉	
補体欠損症と疾患	
	稲井 真弥 866
細胞性免疫の欠如疾患	
	四宮 範明 870
〈座談会〉	
HLA抗原の基礎と臨床応用	
	辻 公美・関口 進 873
	雨宮 洋一・北原 光夫
今月の主題・理解のための10題	
	北原 光夫 886
重要用語の解説	
	北原 光夫 770

ウイルス肝炎 現況と展望(6)	
ウイルス志向の肝臓病学	
	織田 敏次 976
〈肝炎ウイルスはここまで解明された〉	
A型肝炎ウイルス, B型肝炎ウイルス, δ 因子	
	岡本 宏明 978
非A非B型肝炎ウイルス	
	志方 俊夫 982
〈臨床のみかた〉	
A型肝炎の疫学・臨床像	
	谷川 久一 984
B型肝炎の疫学・臨床像	
	鈴木 宏 988
非A非B型肝炎の疫学・臨床像	
	古田 精市 992
肝臓を侵すその他のウイルス	
	三宅 和彦・他 996
〈さまざまな病態〉	
劇症肝炎の病態生理	
	藤原 研司・他 998
劇症肝炎の病理像	
	志賀 淳治・他 1002
"acute-on-chronic"の概念	
	武藤 泰敏 1004
ウイルス肝炎の免疫病理	
	黒木 哲夫・他 1008
ウイルス肝炎の慢性化	
	戸田剛太郎・他 1012
B型肝炎ウイルスと発癌	
	小林 健一・他 1016
B型肝炎ウイルスの肝細胞DNAへの組み込み	
	三田村圭二 1020
小児における肝炎の問題点	
	白木 和夫 1022
〈効果的予防法〉	
肝炎ウイルスの消毒	
	遠山 博 1024
A型肝炎の予防	
	小島 健一・他 1026
B型肝炎ワクチン	
	飯野 四郎 1028
B型肝炎の予防—受動免疫による予防	
	馬場 清 1030
B型肝炎ウイルス母児間感染遮断	
	矢野 右人 1032
B型肝炎ウイルス・キャリアへの対応	
一定期検診による管理	
	大林 明・他 1036
〈治療—その効果と限界〉	
B型慢性肝炎	
—インターフェロン療法	
	加登 康洋・他 1039
—Ara-A, Ara-AMP療法	
	斎藤 純夫・他 1042
—ステロイド離脱療法	
	熊田 博光・他 1044
—免疫療法	
	各務 伸一 1048
その他の新しい肝臓病薬	
	瀧野 辰郎・他 1050
食事療法	
	兼高 達哉 1052
〈座談会〉	
ウイルス肝炎 研究と臨床の現状	
	矢野 右人・上村 朝輝 林 茂樹・小池 克郎

織田 敏次 1055	非ステロイド剤坐剤の功罪
今月の主題・理解のための10題	延永 正 1228
林 茂樹 1068	非ステロイド剤注射剤の功罪
	百瀬 隆 1230
抗炎症剤の進歩と使い方(7)	〈抗炎症剤の周辺〉
抗炎症剤の進歩と使い方	活性酸素と抑制剤 丹羽 靱負 1234
(主要ステロイド剤・非ステロイド剤	免疫調節剤の概略 小坂 志朗 1238
一覧表を含む) 水島 裕 1160	〈鼎談〉
〈ステロイド剤使用のための基礎知識〉	抗炎症剤の歴史, 現状, 将来
ステロイド剤の作用機序	本間 光夫・七川 歆次
市川 陽一 1164	水島 裕 1240
ステロイド剤のリンパ球に対する	今月の主題・理解のための10題
作用 坂根 剛・他 1166	水島 裕 1252
喘息にステロイド剤はなぜ効果が	
あるか 真野 健次 1168	高血圧症 今日の治療(8)
鼻アレルギーにステロイド剤はなぜ	高血圧治療の最近の動向
効果があるか 奥田 稔 1170	竹下 彰 1340
外用・局所ステロイド剤の作用増強	〈疫学〉
の機序 五十嵐理慧・他 1174	わが国における高血圧症管理の現況
〈ステロイド療法最近の動向〉	旗野 脩一 1342
新しいステロイド剤	高血圧の予後と治療による改善
赤真 秀人・他 1176	柴田 博 1346
最近問題となっているステロイド剤	〈診断〉
の副作用 塩川 優一 1178	血圧の正しい測定法と高血圧症の
ステロイド療法における他剤併用の	診断 川崎 晃一 1348
問題点 川合 眞一 1180	高血圧患者の何をどのように評価
ステロイド剤の隔日投与・間歇投与・	するか 倉持 衛夫 1352
離脱法 矢野 三郎 1182	二次性高血圧をいつ, どのように
膠原病におけるステロイド剤の使い方	鑑別するか 三浦 幸雄 1356
柏崎 禎夫・他 1184	〈治療〉
膠原病以外の疾患におけるステロイド	非薬物治療の実際
剤の使い方 森田 寛・他 1188	一食事療法 藤田 敏郎 1360
皮膚疾患におけるステロイド剤の	一運動療法 荒川規矩男 1364
使い方 武田 克之・他 1190	段階的薬物治療の実際と問題点
〈非ステロイド剤の基礎と問題点〉	金子 好宏 1366
非ステロイド剤の臨床効果の機序	高血圧治療のコンプライアンス
と問題点 柳川 明・他 1194	藤井 潤 1372
シクロオキシゲナーゼ阻害作用のない	降圧薬の副作用とその防止
非ステロイド性抗炎症薬	日野 尚子・他 1374
鹿取 信 1198	〈特殊な高血圧症の治療〉
非ステロイド剤とプロスタグラン	軽症高血圧の治療 島本 和明・他 1380
ディンの併用療法	高齢者高血圧症の治療 額田 忠篤 1384
東島 利夫・他 1200	小児の高血圧症とその治療
〈非ステロイド剤最近の動向〉	福重淳一郎・他 1386
持続型非ステロイド剤 景山 孝正 1204	〈合併症を有する高血圧患者の治療〉
経皮吸収型非ステロイド剤	高血圧性緊急症の治療
菅野 卓郎 1208	有田 幹雄・他 1390
新しいプロドラッグ 星 恵子 1210	脳血管障害を有する高血圧患者の
選択的プロスタグランディン合成	治療 佐渡島省三 1394
抑制剤 小林 絢三・他 1212	心臓病を有する高血圧患者の治療
ターゲティング用非ステロイド剤	柳沼 淑夫 1396
柳川 明・他 1214	腎機能障害を有する高血圧患者の
最近市販された非ステロイド剤	治療 小野山 薫・他 1398
有富 寛 1216	妊婦の高血圧治療 猿田 享男 1400
〈非ステロイド剤の使い方・副作用〉	糖尿病を合併する高血圧者の治療
非ステロイド剤の使い方	江藤 胤尚 1402
入交昭一郎 1220	術前的高血圧管理 日和田邦男・他 1404
非ステロイド剤の副作用	〈高血圧研究のトピックス〉
菅原 幸子 1224	心房性ナトリウム利尿ポリペプチド
	石井 當男 1406

Na-K-ATPase 抑制因子	
後藤 淳郎・他 1408	
中枢神経と血圧調節 今泉 勉 1412	
微小循環 大橋 俊夫 1416	
高血圧症における静脈血管の異常	山本 仁 1420
〈鼎談〉	
高血圧治療におけるCa拮抗薬	
海老原昭夫・石井 當男	
竹下 彰 1422	
今月の主題・理解のための10題	
竹下 彰 1432	
白血病 最新の知見と治療の進歩(9)	
白血病/リンパ腫の成因	井川 洋二 1522
急性白血物の最近の治療理念とその	
動向—治療初期における最強力療法	天木 一太 1526
成人急性白血病の長期生存	川島 康平 1530
〈病態と診断〉	
白血病の幹細胞 溝口 秀昭 1532	
白血病細胞の分化能とその制御	穂積 本男 1534
細胞回転 高本 滋・他 1538	
細胞生化学 團 茂樹・他 1540	
染色体異常 鎌田 七男 1542	
Variant chromosome 16を有する	
急性骨髄性白血病 春山 春枝 1546	
免疫学的マーカー	
一急性リンパ性白血病	上田 龍三・他 1548
一急性骨髄性白血病 佐川 公橋 1552	
急性白血病とFAB分類	土屋 達行 1554
〈特殊な白血物の病態〉	
成人T細胞白血病 高月 清 1558	
骨髄異形成症候群(MDS)	
—FAB分類(1982)について	安達 満雄・他 1560
巨核芽球性白血病 柴田 昭 1564	
高齢者白血病 外山 圭助 1566	
〈化学療法〉	
抗白血病剤の作用機序と副作用	笹田 昌孝・他 1569
成人急性白血病の化学療法	
—同一プロトコールによる多施設	
での治療成績 名倉 英一・他 1572	
成人非リンパ性白血病の寛解後治療	
—Postremission therapy	宇塚 善郎 1575
成人急性リンパ性白血病の化学療法	
大島 年照 1578	
小児急性白血病の化学療法	
三間屋純一 1582	
新しい治療法	
—シタラビン大量療法	吉田 稔・他 1588

ーシタラビン少量療法	
慢性骨髓性白血病(急性転化を含む)	澤田 博義・他 1590
の化学療法	喜多嶋康一 1594
〈合併症とその対策〉	
感染症とその対策	柴田 弘俊 1596
出血とその対策	岩永 隆行・他 1598
〈特殊な治療法〉	
自家骨髄移植	原田 実根 1600
同種骨髄移植	正岡 徹 1602
栄養療法	
ーTotal Parenteral Nutritionによる	
栄養管理	伊藤 武善 1604
〈座談会〉	
白血病の診断と治療	
下山 正徳・正岡 徹	
大野 竜三・大島 年照 1607	
今月の主題・理解のための10題	
大島 年照 1622	
腎疾患 最近の展開とトピックス(10)	
腎疾患ー最近の展開とトピックス	黒川 清 1730
〈糸球体腎炎：臨床と診断〉	
溶連菌感染後腎炎	荒川 正昭・他 1733
IgA 腎症	富野康己 1736
膜性腎症	西 忠博 1740
リポイドネフロシス	成田 光陽 1743
果状糸球体硬化症(FGS)	
酒井 紀・他 1746	
膜性増殖性腎炎(MPGN)	
小林 修三・他 1748	
〈全身性疾患と腎：発生病理と臨床〉	
全身性エリテマトーデス(SLE)	
長沢 俊彦 1750	
糖尿病	大沢 源吾 1752
ウイルス性肝炎	小出 輝 1754
癌, 悪性リンパ腫	深川 雅史・他 1758
痛 風	原 茂子・他 1762
付)妊娠と腎	阿部 信一 1764
〈尿管疾患：病態生理に関する進歩〉	
遠位尿管管性アシドーシス	
佐々木 成 1766	
Bartter 症候群	藤田 敏郎 1768
家族性低リン血症性ビタミン B	
抵抗性くる病	清野 佳紀 1770
〈薬剤による腎障害〉	
薬剤による腎障害	田部井 薫・他 1774
〈診断のすすめ方〉	
血 尿	黒川 清 1778
乏尿, 無尿	菱田 明 1780
尿路結石	池田 恭治・他 1782
〈治療の進歩〉	
全身性エリテマトーデス(SLE)	
長沢 俊彦 1786	
腎移植ーその展望	東間 紘 1788
腎血管性高血圧	猿田 享男 1792
〈慢性透析療法の合併症〉	
腎性骨異常とアルミニウム中毒	
久保 仁・他 1794	

循環器系	出口 隆志・他 1800
感染症	二瓶 宏・他 1802
〈研究のトピックス：腎とホルモン〉	
心房性ナトリウム利尿ペプチド	
(ANP)	古関千寿子・他 1804
プロスタグランディン	
佐藤 牧人・他 1806	
ビタミン D	松本 俊夫 1808
〈鼎 談〉	
腎疾患ー最近の展開とトピックス	
荒川 正昭・長沢 俊彦	
黒川 清 1812	
今月の主題・理解のための10題	
黒川 清 1826	
生体防御と感染症(11)	
生体防御機構のしくみ	北原 光夫 1924
機械的防御の働きー皮膚と粘膜	
川名 林治・他 1928	
〈貧食細胞の機能〉	
遊走能	安倍 千之 1930
貧食能	大田 雅嗣・他 1934
殺菌作用	宮田 昌之・他 1936
〈免疫機能〉	
T細胞	横田 俊平 1939
B細胞	岡田 全司 1944
補体の働き	行山 康 1948
インターフェロン	海老名卓三郎 1952
〈外界と接触する臓器の防御反応〉	
消化管における感染防御反応	
大貫 寿衛 1956	
呼吸器における感染防御反応	
塚本 玲三 1958	
〈免疫能と感染症〉	
免疫機能低下のメカニズム	
堀 誠 1961	
生体防御低下患者にみられる発熱	
への対応	北原 光夫 1966
〈機械的防御の破綻と感染〉	
熱傷後の感染症	相川 直樹・他 1970
静脈内留置カテーテルと感染	
小林 寛伊 1974	
カンジダ食道炎	相澤 信行 1976
〈貧食細胞と感染〉	
機能低下と感染	松浦 良二 1978
顆粒球減少と感染症	雨宮 洋一 1980
〈日和見感染症〉	
肺 炎	舟田 久 1982
中枢神経系の感染症	高木 誠 1984
軟部組織の感染症	渡辺 一功 1988
補体欠如と感染症	矢田 純一 1992
〈よくみられる免疫機能低下状態と	
感染症〉	
糖尿病と感染症	渥美 義仁 1994
腎不全と感染症	山本 勝・他 1998
老年者の感染症の病態	島田 馨 2002
アルコールと感染症	相澤 好治 2006
〈鼎 談〉	
抗生物質の使い方	
島田 馨・渡辺 一功	

北原 光夫 2010	
今月の主題・理解のための10題	
北原 光夫 2022	
重要用語の解説	北原 光夫 1922
めまいの臨床(13)	
めまい診療の現状	小松崎 篤 2556
めまいを理解するための基礎的事項	
上村 卓也 2558	
〈めまい・平衡障害の診断〉	
めまい診断のための問診	
吉本 裕 2562	
眼振の検査法	徳増 厚二 2568
異常眼球運動の検査	坂田 英治 2572
体平衡の検査	時田 喬・他 2576
めまい診断のための聴力検査	
神崎 仁 2580	
めまい診断のための神経学的検査法	
宇高不可思・他 2584	
側頭骨 X 線検査法ー単純撮影, 断層撮影	
蜂屋 順一 2588	
脳血管造影検査, CT 検査	
古瀬 信・他 2592	
〈めまい・平衡障害を主訴とする各種疾患〉	
メニエール病	二木 隆 2596
末梢前庭性めまい	野末 道彦 2598
聴神経腫瘍	小松崎 篤 2602
小脳萎縮症(脊髄小脳変性症)と	
めまい	福武 敏夫・他 2608
神経内科よりみためまい	
ー脳血管障害を中心に	濱口 勝彦 2610
脳神経外科よりみためまい	
ー脳腫瘍・外科的脳血管障害	
を中心に	植村 研一 2614
血圧とめまい	島津 邦男・他 2618
〈めまいの治療〉	
薬物療法	
ー内科の立場より	高橋 昭 2620
ー耳鼻科の立場より	松永 亨 2624
手術療法	北原 正章・他 2628
〈座談会〉	
めまいをめぐる諸問題	
渡辺 勲・濱口 勝彦	
植村 研一・小松崎 篤 2631	
今月の主題・理解のための10題	
小松崎 篤 2648	

[Current topics]	
PTCR と PTCA (1)	
冠動脈血栓溶解療法(PTCR)	
延吉 正清 (1) 130	
PTCR と PTCA (2)	
経皮的冠動脈拡張術(PTCA)	
延吉 正清 (2) 346	
気管支肺泡洗滌	
安岡 劭・他 (3) 518	
急性呼吸不全	
ー病態生理と呼吸管理の実際	
大村 昭人 (4) 716	

遺伝子工学と内科学(対談)	
基礎的理解から臨床応用の最先端を探る	
村松 正実・高久 史麿 (5)	922
狭心症における冠スバズムの関与	
とその意義 土師 一夫 (9)	1659
びまん性汎細気管支炎の独立性を	
めぐって 泉 孝英・他 (10)	1864
Roentgenologically Occult Lung	
Cancer の診断法	
小野 良裕 (11)	2062

[PROFESSORS FROM ABROAD]

ビタミンD最近の話題	
T.Kenney Gray	
(北原光夫訳) (3)	512

[特別対談]

診断学の未来—その技術・理論・評価	
阿部 裕・古川 俊之 (1)	140

[カラーグラフ]

皮膚病変のみかたとらえ方

／石川 英一・他	
糖尿病患者にみられる皮膚病変	(1) 102
水疱症 bullous diseases の診断	(2) 320
多発性結節性動脈炎 Polyarteritis nodosa の診断	(3) 482
悪性黒色腫の特徴	(4) 694
薬疹の種々相	(5) 892
全身性エリテマトーデス (systemic lupus erythematosus) の皮膚病変	(6) 1072
汎発性強皮症 (PSS) 診断の指標	
となる皮膚症状	(7) 1256
シェーグレン症候群にみられる皮膚症状	(8) 1436
混合性結合組織病 mixed connective tissue disease の皮膚症状	(9) 1626
皮膚筋炎	(10) 1830
ベーチェット病の皮膚症状	(11) 2026
湿疹病変のみかた	(13) 2652

[演習]

目でみるトレーニング

山口高史・他 鈴木 茂	
北村 諭 長瀬 光昌	
石村 孝夫 (1)	105
鈴木 茂 山口高史・他	
戸山雅子・他 北村 諭	
長瀬 光昌 (3)	485
戸山雅子・他 鈴木 茂	
長瀬 光昌 比江嶋 一昌	(5) 895
山口高史・他 天野 清範	
安斎幸夫・他 天野 清範	
戸山雅子・他 久間 祥多	
比江嶋 一昌 (6)	1075
比江嶋 一昌 天野 清範	

久間 祥多 平井正志・他	
安斎幸夫・他 (7)	1259
長谷川 鎮雄 天野 清範	
山岡新八・他 久間 祥多	
安斎幸夫・他 (8)	1439
大井元晴・他 武藤 良知	
中居 賢司 角谷 真澄	(9) 1629
長谷川 鎮雄 中居 賢司	
角谷 真澄 伊藤 明一 (10)	1833
伊藤 明一 本田和徳・他	
武藤 良知 角谷 真澄	(11) 2029
松尾尚樹・他 武藤 良知	
兼本 成斌 武藤 良知	
本田和徳・他 松尾尚樹・他	(13) 2655
伊藤 明一	

実践診療 EXERCISE

頭痛 小林 祥泰 (4)	733
持続する咳嗽 相馬 一玄 (4)	735
右上腹部痛 西崎 統 (5)	959
嚥下障害 俵 哲 (6)	1115
発熱、嘔吐 北 祥男・他 (6)	1117
紫 斑 赤塚 祝子 (7)	1315
心窩部痛 森田 敏和 (7)	1317
呼吸困難 相馬 一玄 (8)	1479
高齢者の頭重感 小林 祥泰 (8)	1481
吐血 革嶋 恒徳 (9)	1673
振 戦 俵 哲 (9)	1675
出血傾向、貧血 赤塚 祝子 (10)	1875
全身倦怠感、心窩部痛、両眼	
角膜出血 森田 敏和 (10)	1877
胸痛、呼吸困難	
北 祥男・他 (11)	2077
頭痛 小林 祥泰 (13)	2689
右上腹部痛、発熱	
森田 敏和 (13)	2691

[グラフ]

胸部X線診断の基礎

撮り方と読み方／新野 稔	
13.	(1) 122
14.	(2) 324
15.	(3) 496
16.	(4) 698
17.	(5) 906
18.	(6) 1082
19.	(7) 1266
20.	(8) 1450
21.	(9) 1636
22.	(10) 1852
23.	(11) 2030
24.	(13) 2662

複合心エコー図法／伊東 紘一・他

後天性心疾患—弁膜症 (2)	324
後天性心疾患—心臓液 (3)	492
先天性心疾患	
—総肺静脈還流異常 (TAPVC) (5)	902

先天性心疾患—三心房心 (8)	1446
後天性心疾患—心内膜炎 (13)	2676

画像からみた鑑別診断(鼎談)

感染性心内膜炎	
宮沢 総介・山田 哲久	
川上 憲司 (1)	112
大動脈解離	
宮沢 総介・山田 哲久	
川上 憲司 (2)	336
肝腫瘍性病変(1)	
伊坪真理子・関谷 透	
川上 憲司 (3)	502
肝腫瘍性病変(2)	
伊坪真理子・関谷 透	
川上 憲司 (4)	706
腎血管性高血圧症	
斎藤 宣彦・多田 信平	
川上 憲司 (5)	914
Sipple 症候群	
斎藤 宣彦・多田 信平	
川上 憲司 (6)	1090
消化管疾患(1)胃癌とその合併症	
平井 勝也・水沼 仁孝	
川上 憲司 (7)	1274
消化管疾患(2)直腸癌	
平井 勝也・水沼 仁孝	
川上 憲司 (8)	1458
肝細胞癌	
小林 進・多田 信平	
川上 憲司 (9)	1648
肝芽腫	
小林 進・多田 信平	
川上 憲司 (10)	1840
悪性リンパ腫 (ホジキン病)	
佐藤 哲夫・多田 信平	
川上 憲司 (11)	2050
肺癌、転移性肝癌	
田中 照二・多田 信平	
川上 憲司 (13)	2680

[講座]

図解病態のしくみ 腎臓病／黒川 清・他

1. 急性腎不全 (1)	157
2. 慢性腎不全 (2)	355
3. 慢性腎不全	
一尿毒症時の内分泌代謝異常 (3)	541
4. Renal Osteodystrophy (4)	737
5. 腎炎発生の免疫学的機序 (5)	947
6. 糸球体腎炎 (6)	1119
7. ネフローゼ症候群 (7)	1295
8. 間質性腎炎 (8)	1483
9. 尿細管性アシドーシス (9)	1677
10. 全身性疾患の腎障害 (10)	1879
11. 尿路結石 (11)	2081
12. 腎血管性高血圧症 (13)	2695

Oncology／北原光夫

13. 固型癌 (1) 肺癌 (1)	167
14. 固型癌 (2) 肺小細胞癌 (2)	361

15. 固型癌 (3) 乳癌	(3)	547
16. 生殖臓器腫瘍 (1) 卵巣癌		
	(4)	745
17. 生殖臓器腫瘍 (2) 嚢丸腫瘍	(5)	955
18. 原発巣不明癌	(6)	1131
19. 肉腫	(7)	1301
20. 消化器系統の悪性腫瘍	(8)	1489
21. リンパ腫 (1) ホジキン病		
	(9)	1685
22. リンパ腫 (2) 非ホジキン・リンパ腫	(10)	1889
23. 多発性骨髄腫	(11)	2087
24. 急性非リンパ性白血病	(13)	2701

臨床ウイルス学

1. 臨床ウイルス学研究の現状	川名 林治 (7)	1307
2. 韓国型出血熱-腎症候性出血熱	柴崎 浩一・他 (8)	1495
3. 感冒ウイルス	加地 正郎 (9)	1691
4. 自己免疫疾患とウイルス	廣瀬 俊一 (10)	1895
5. ヘルペスウイルス感染症	加地 正郎・他 (11)	2091
6. ウイルス性脳炎・髄膜炎	大石 実・他 (13)	2705

【境界領域】

転科のタイミング

転移性肺腫瘍	小中 千守・他 (5)	935
亜イレウス	馬越 正通・他 (6)	1110
慢性肺炎	山内 英生・他 (11)	2072

【ベッドサイド】

臨床薬理学マニュアル／越前 宏俊

辻本 豪三・石崎 高志		
10. beta-blocker	(7)	534
11. アスピリン	(5)	940
12. メソトレキサート	(6)	1100
13. クロラムフェニコール	(7)	1287
14. シメチジン	(8)	1472

海外留学ガイダンス／大石 実

留学方法と留学先	(8)	1506
FMGEMS と ECFMG	(9)	1702
ECFMG English Test と TOEFL	(10)	1906
ニューヨークとアイオワ	(11)	2098
FLEX と米国専門医試験	(13)	2718

診療基本手技

熱傷	遠藤 幸男・他 (1)	174
肛門病変	遠藤 幸男・他 (2)	366
鼠径ヘルニア嵌頓	遠藤 幸男・他 (3)	554
Physical examination の書き方		
循環器系	吉岡 成人・他 (4)	750

現症, 身体所見の記載のしかた	西崎 統・他 (7)	1312
膀胱穿刺と膀胱瘻造設	永田 幹男・他 (8)	1502
人工呼吸の実際	松原 光伸・他 (9)	1698
直腸診-前立腺の触診	永田 幹男・他 (10)	1902
胃ファイバースコープ挿入のポイント	西崎 統 (13)	2714

当直医のための救急手技

外科 (1) 創傷処置・胸部外傷	若山 達郎 (1)	178
外科 (2) 腹部外傷	若山 達郎・他 (2)	372
外科 (3) 急性腹症	若山 達郎・他 (3)	557
整形外科 (1) 四肢開放創の初療	高橋 力 (4)	753

新薬情報／水島 裕・他

コレステラミン	(1)	176
プレグランディン腔坐薬	(2)	371
現在開発中の免疫調節剤	(3)	560
沈降 B 型肝炎ワクチン	(4)	756
BRM (biological response modifiers)	(6)	1136
カンテック (Kantec)	(7)	1320
生合成ヒト・インスリン	(8)	1510
フェロン (Feron)	(9)	1706
ヘルペン坐剤 125・250	(13)	2722

感染症メモ／北原 光夫・他

新しい抗真菌剤 Ketoconazole	(1)	153
院内 Staphylococcus epidermidis 感染症	(2)	369
皮膚にみられる日和見感染症	(3)	540
敗血症ショックとステロイド	(5)	961
抗生物質関連腸炎 (antibiotic-associated colitis)	(6)	1142
Aztreonam-最初の monobactam 剤	(7)	1322
広範囲経口抗菌剤 Norfloxacin (Baccidal®)	(8)	1512
非 A 非 B 肝炎の Follow up	(9)	1700
急性下痢症の管理	(10)	1910
急性咽頭炎	(11)	2105
ウイルス薬 Acyclovir (Zovirax®)	(13)	2724

一冊の本

「内科学断章」	阿部 正和 (8)	1505
「敦煌」	一柳 邦男 (9)	1701
「二十世紀旗手」	川田 繁 (10)	1905
「The Tragedy of Baltic States」	泉 孝英 (11)	2097
「The EFFECTIVE CLINICIAN」	日野原重明 (13)	2717

面接法のポイント／河野 友信

病態別の面接	(1)	180
老人と小児患者の面接	(3)	564
癌患者や心理的問題を持つ患者との面接	(4)	758
死にゆく患者, 性問題を持つ患者との面接	(6)	1140
看護およびリハビリテーションと面接	(9)	1708
栄養指導, 家族および職域保健と面接	(10)	1912
面接と記録	(11)	2102
面接と記録 (2)	(13)	2726

外来診療 Q&A

笠貫 宏 (1)	154
----------	-----

CPC／結研グループ

結核性膿胸に合併した胸壁原発の悪性リンパ腫の症例	(3)	566
亜区域性無気肺影を呈し, 肺癌が疑われた 74 歳女性の例	(5)	962
発熱と胸部 X 線上多発性透亮像 (空洞性病変) を呈した 63 歳の女性	(6)	1144
Immunoblastic Lymphadenopathy 患者にみられた進行する呼吸困難とびまん性肺病変	(7)	1324
耳下腺腫大, IgM 血症を有する患者にみられたステロイドに反応する肺の浸潤影	(9)	1710
呼吸困難と胸部 X 線上びまん性浸潤影を呈した 30 歳女性	(13)	2730

表紙の解説

乳頭筋断裂	木全 心一 (1)	5
多発性筋炎の筋生検所見	栗原 照幸 (2)	191
自己免疫性甲状腺疾患の発症機序の模式図	小出 義信 (3)	381
純コレステロール石	大菅 俊明 (4)	581
補体の classic pathway の活性化の開始	北原 光夫 (5)	767
HBV-DNA と遺伝子	林 茂樹 (6)	975
脂肪微粒子による炎症部位へのターゲティング療法	水島 裕 (7)	1159
拡張期血圧の高血圧リスク	竹下 彰 (8)	1339
急性骨髄性白血病 (M2) と急性単芽球性白血病 (M5A)	大島 年照 (9)	1521
糸球体腎炎 (腎炎) とは?	荒川 正昭 (10)	1721
好中球の殺菌過程	北原 光夫 (11)	1921
三半規管の解剖	小松崎 篤 (13)	2555